

バイタルの

トロリー

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、紛失しないように大切に保管してください。



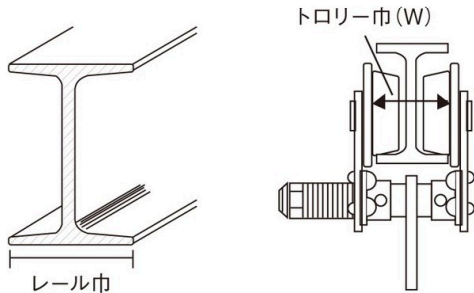
8つの安全厳守事項



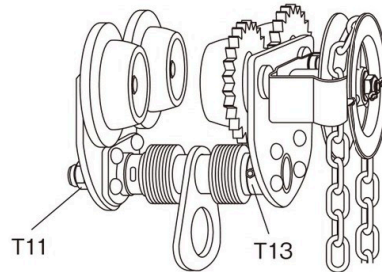
危険

トロリーはレール等に取り付ける関係上、頭上での使用が多いので安全対策をおこたると品物の破損とか、生命をなくする危険があります。万一のことを考えて慎重にお使い下さい。

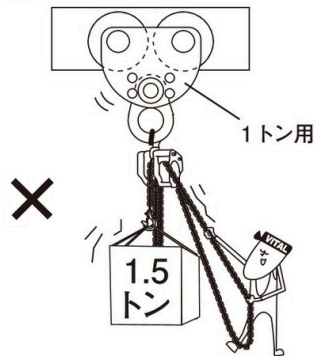
1 取り付ける際には、レール巾とトロリー巾(W)を確認して下さい。



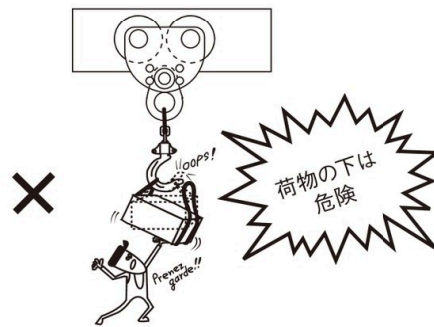
2 ステーボルト (T11)、固定ボルト (T13) のナットはしっかり締めて下さい。



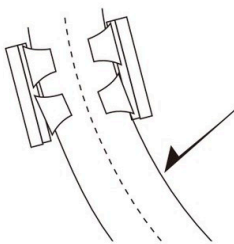
3 定格以上の荷重を吊らないで下さい。



4 荷物の直下には絶対に入らないで下さい。

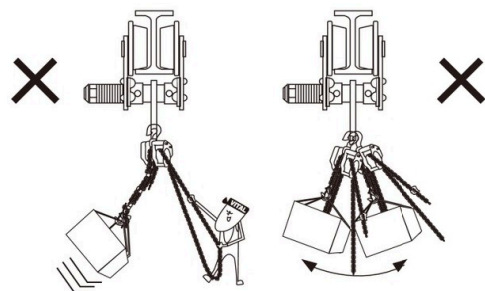


5 車輪がレールから、外れたままでの使用はしないで下さい。レールの回転半径を確認して下さい。

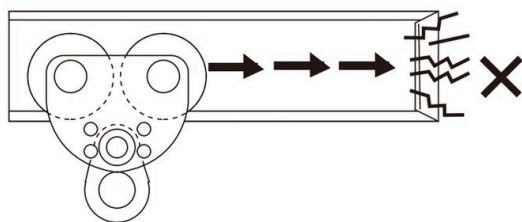


トン	最小回転半径 (mm)
$\frac{1}{2}$	900
1	1300
2	1500
3	2000
5	2600

6 横引きや、横揺れするような使い方はしないで下さい。



7 トロリーを急速移動させて、レールのストッパー等に衝撃的につき当てないようにして下さい。

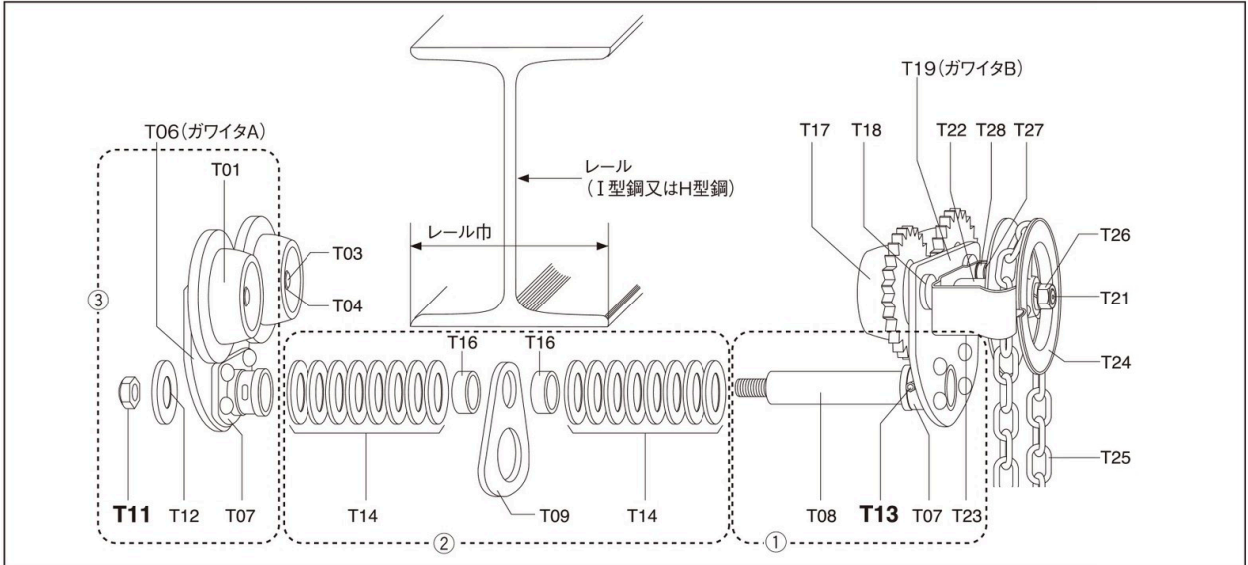


8 日常点検をして下さい。

- 側板が曲がっていないか
- コマを止めるスナップリングはついているか
- コマの磨耗変形はないか
- ナットは締まっているか
- ハンドホイールとチェーンはかみ合っているか

取付け組立順序

- ① T08(ステー)のネジ目のない方を T19(ガワイタB)の T07(ステーウケ)に差込んだら、T13(固定用ボルト)を T07 ステーウケの横の穴から差し込みナットを締付けてステーを T19(ガワイタB)に固定します。
- ② 下表下図のトロリー幅の合わせ方を参考にして、T14 (調節ワッシャー)→T16 (カラー)→T09 (吊板)→T16 (カラー)→T14(調節ワッシャー)の順にステーに入れていきます。
- ③ ②まで組んだら、コマ部をレールに乗せて、反対側から、もう片方の T06(ガワイタ A)→T14(調節ワッシャー)→T12(サイドワッシャー)→ T11(U ナット)の順で取付けて、U ナットをスパナ(32mm)で最後まで締付けたら完了です。
危険：T11(U ナット)を手で仮止めしただけでは締めたことにはなりません。スパナで最後まで締付けて下さい。



レール巾による、トロリー巾の合わせ方

種類(呼び) (T)	レール巾(W)と調節ワッシャーの組合せ区分(A~I)(mm)									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1/2	75	81.3	87.5	93.8	100	106.3	112.5	118.8	125	
1	75	81.3	87.5	93.8	100	106.3	112.5	118.8	125	
2	100	106.3	112.5	118.8	125	131.3	137.5	143.8	150	
3	100	106.3	112.5	118.8	125	131.3	137.5	143.8	150	
5	125	131.3	137.5	143.8	150	156.3	162.5	168.8	175	
10	150	156.3	162.5	168.8	-	-	-	-	175	

レールの巾寸法を測定して、それに合う組合せ区分(A~I)のワッシャー数にして下さい。(10トン用は下表)

	イ	□	ハ
A	8枚	0枚	0枚
B	6枚	1枚	1枚
C	4枚	2枚	2枚
D	2枚	3枚	3枚
I	0枚	4枚	4枚

仕様表

種類 (呼び) (T)	品名・型式				定格 荷重 (t)	揚程(m)		適応レール巾 (mm)		最小回 転半径 (mm)	自重(kg)			
	プレートローリ		ギヤードローリ			ギヤードローリ		最小	最大		AP	APD	AG	AGD
	AP	APD	AG	AGD		AG	AGD							
1/2	AP-05	APD-05	-	-	0.5	-	75	125	900	6	7	-	-	
1	AP-10	APD-10	AG-10	AGD-10	1.0	2.5	75	125	1300	10	10.8	14	15	
2	AP-20	APD-20	AG-20	AGD-20	2.0	3.0	100	150	1500	18.5	19.5	23.5	25	
3	AP-30	APD-30	AG-30	AGD-30	3.0	3.0	100	150	2000	27	30	33.5	35.9	
5	AP-50	APD-50	AG-50	AGD-50	5.0	3.0	125	175	2600	44	48	53.5	57.6	
10	AP-90	APD-90	AG-90	AGD-90	10	3.5	150	175	-	96	100	101	105	

◎10ton用は、5ton用を2台連結した受注生産品です。

◎ドロップストップ形は、トローリ同士の衝突や、レールのストッパー等突き当たりへの衝突などに対してコマが破損して脱輪することのないようにコマをガードしている為、安全です。

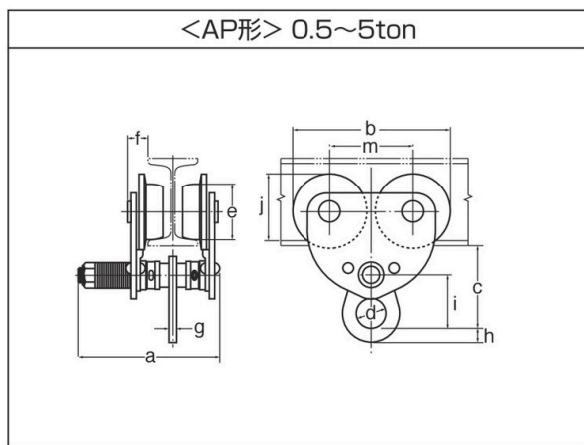
◎AP形=汎用形、APD形=ドロップストップ形
AG形=汎用形、AGD形=ドロップストップ形

寸法表 P

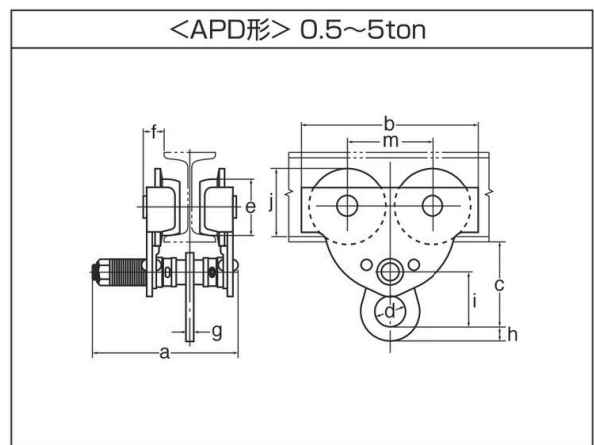
(単位：mm)

種類 (呼び) (T)	プレートローリ											
	a	b		c	d	e	f	g	h	i	j	m
		AP	APD									
1/2	207	174	196	120	45	55	28.5	10	20	77.5	69.5	90
1	207	230	253.5	120	45	80	28.5	10	20	77.5	94.5	121.5
2	241	271	300	155	60	100	33	10	30	100	114.5	142
3	252	311	349	185	70	113	40.5	14	30	112	131	162
5	284	351	395	220	80	125	42.5	20	35	134	147	182
10	284	721	765	165	63	125	42.5	45	-	77.5	147	182

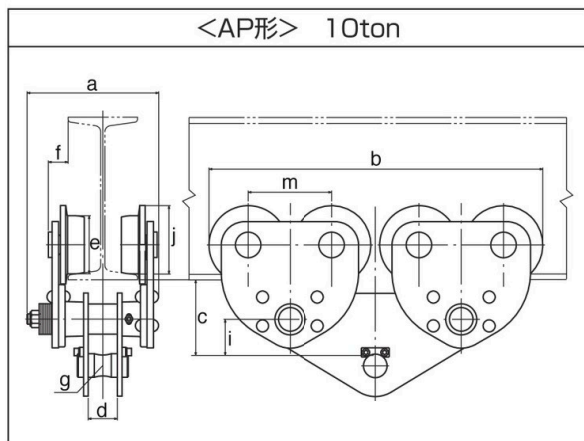
<AP形> 0.5~5ton



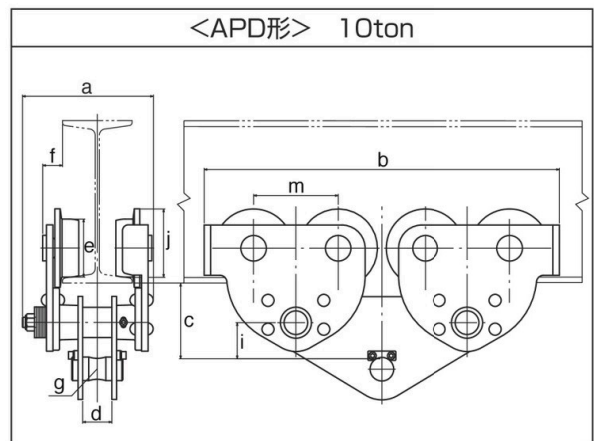
<APD形> 0.5~5ton



<AP形> 10ton



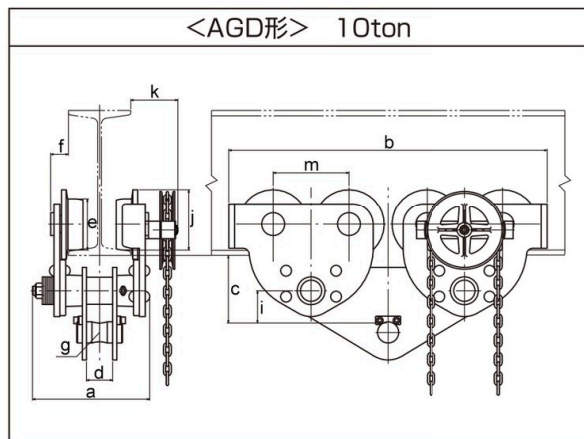
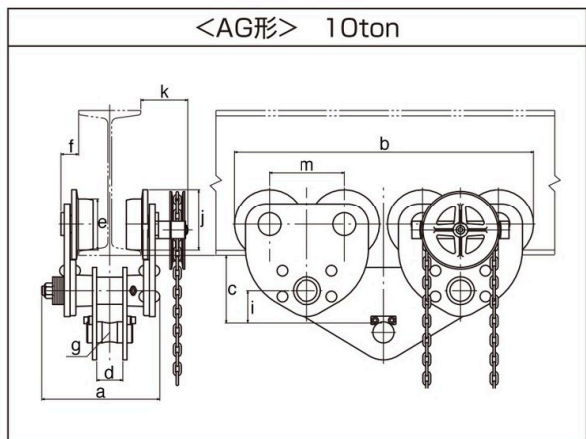
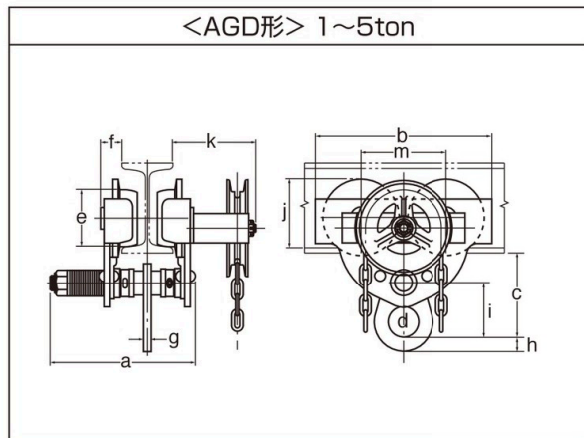
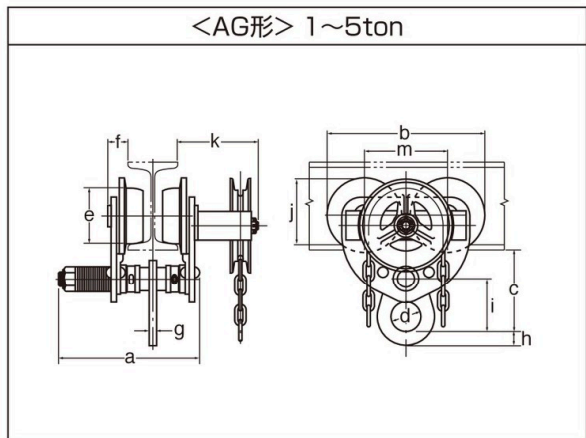
<APD形> 10ton



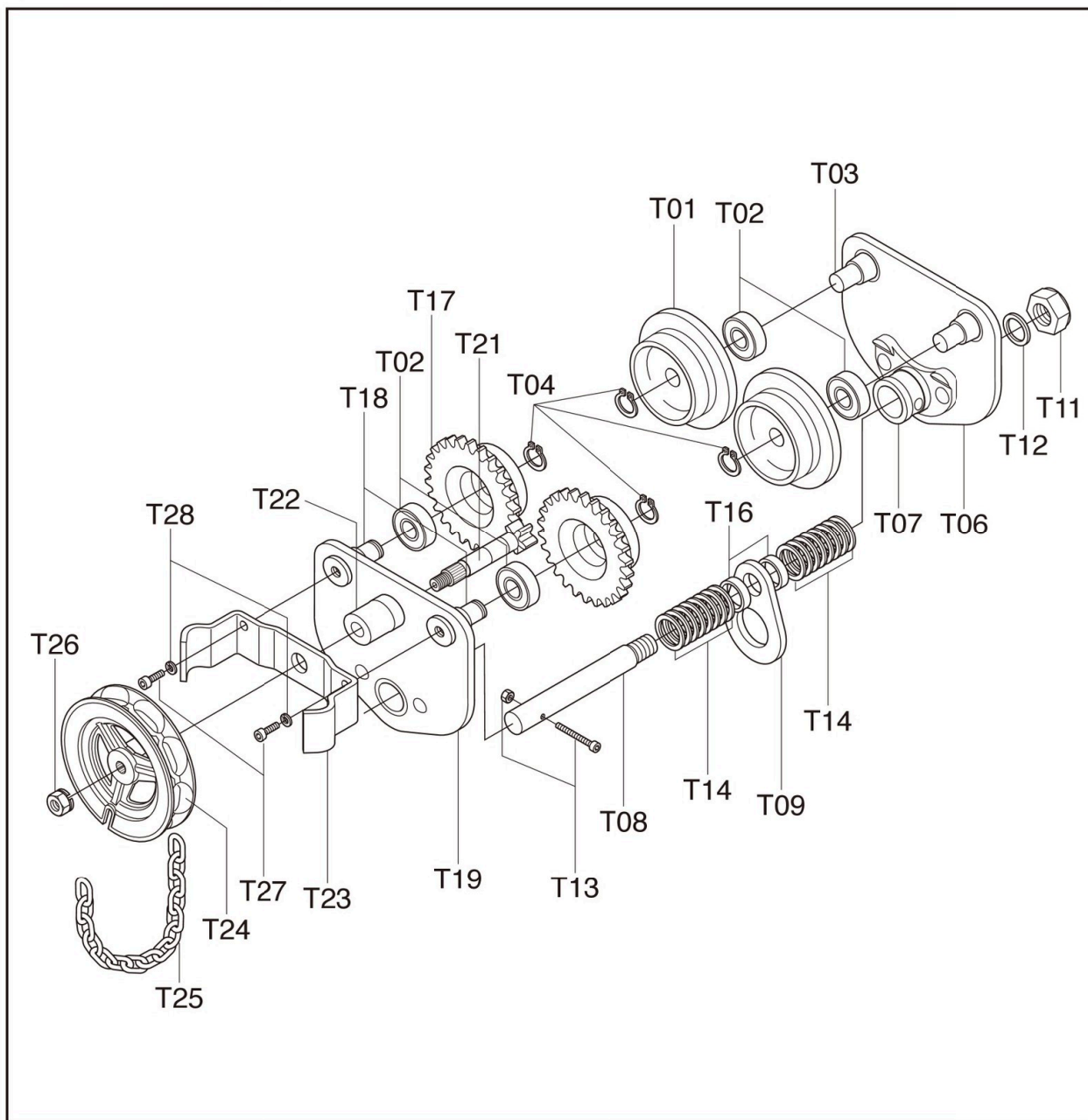
寸法表 G

(単位: mm)

種類 (呼び) (T)	ギヤードローリ												
	a	b		c	d	e	f	g	h	i	j	k	m
		AP	APD										
1	207	230	253.5	120	45	80	28.5	10	20	77.5	94.5	108	121.5
2	241	271	300	155	60	100	33	10	30	100	114.5	109.5	142
3	252	311	349	185	70	113	40.5	14	30	112	131	113	162
5	284	351	395	220	80	125	42.5	20	35	134	147	113	182
10	284	721	765	165	63	125	42.5	45	-	77.5	147	113	182



部品図



部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名
T01	コマP	T11	Uナット (UN-22)	T21	ピニオン
T02	ベアリング	T12	サイドワッシャー	T22	ピニオンメタル
T03	ジクP	T13	固定ボルトナット	T23	チェーンサバキ
T04	スナップリング	T14	調節ワッシャー	T24	ホイール
T06	ガワイタ A	T16	カラー	T25	ハンドチェーン
T07	ステーウケ	T17	コマG	T26	ピニオンナット
T08	ステー	T18	ジクG	T27	サバキボルト
T09	ツリ板	T19	ガワイタ B	T28	サバキワッシャー

◎T01～T16=プレントロリー・ギヤードロリー共通。T17～T28=ギヤードロリー専用部品。

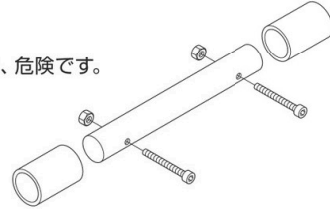
特殊部品

部品番号	部品名	レール巾	0.5ton用	1ton用	2ton用	3ton用	5ton用
T08	長尺ステーセット	150mm	○	○	×	×	×
		175mm	○	○	○	○	○
		200mm	×	×	○	○	○

◎長尺ステーセットは、カラー2ヶと固定ボルトナット2ヶがセットされます。

◎150mm,175mm,200mmとそれぞれのレール巾のみにしか使用できなくなります。

◎0.5ton用と1ton用ではレール巾200mmには対応出来ません。ガワイタがたわむ恐れがある為、危険です。

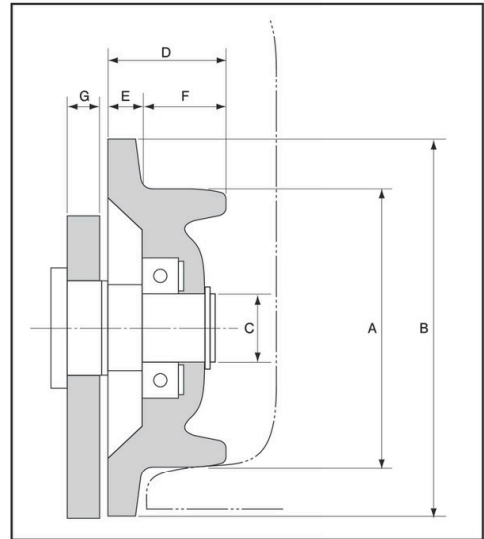


コマP寸法図 (現行型)

(mm)

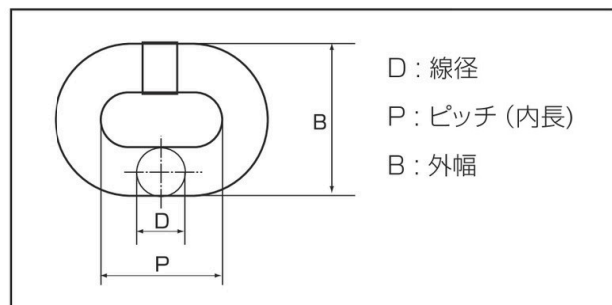
		0.5t用	1t用	2t用	3t用	5t用
レールに当る外形	A	55	80	100	113	125
ツバの外形	B	84	108.7	129	149	169
ジク(車軸)の径	C	15	17	20	25	30
コマ(車)の総幅	D	31.5	34.5	40	46.5	51.5
ツバの幅	E	9.5	9.5	11	14.5	14.5
レールに当る幅	F	22	25	29	32	37
ガワイタの厚み	G	8	8	10	12	14

◎10ton用コマ寸法は、5ton用と同じです。





ハンドチェーン寸法表

定格荷重	部品名	D:線径(mm)	P:ピッチ(mm)	B:外幅(mm)	重量/m(kg)	標準長さ	
						全長(m)	二つ折り(m)
1.0t	T25-10	4.8	22.0	17.5	0.46	5.0	2.5
2.0t	T25-20	5.5	23.0	19.0	0.55	6.0	3.0
3.0t	T25-30	5.5	23.0	19.0	0.55	6.0	3.0
5.0t	T25-50	5.5	23.0	19.0	0.55	6.0	3.0
10t	T25-90	5.5	23.0	19.0	0.55	7.0	3.5



使用基準

トロリーを安全に使用する際、以下の事柄に注意して下さい。

 危険	1	定格荷重の表示が判別出来ない物は使用しないで下さい。
	2	トロリーを取付ける際、レール巾とトロリー巾を確認して下さい。
	3	ステーボルトと固定ボルトのナットは最後まで締付けて下さい。
	4	定格荷重を超える荷重を掛けないで下さい。
	5	車輪がレールから外れたままで使用しないで下さい。レールの回転半径を確認して下さい。
	6	本体フレーム(ガワイタ)が変形したトロリーは使用しないで下さい。
	7	使用前に問題なく作動するかを必ず確認して下さい。
	8	人を吊上げて移動させたりしないで下さい。人の運搬用には設計されてません。
	9	吊上げた荷物を人の上を移動させないで下さい。
	10	吊上げた荷物を移動させるときは、進行方向に対して必ず荷物の後から操作して下さい。
	11	荷物を吊るときは、トロリーの真下で行って下さい。斜め引きになるような吊り方をしないで下さい。
	12	横引きや、横揺れするような使い方をしないで下さい。
	13	トロリーをレールのストッパー等に衝突させないで下さい。
	14	トロリー同士を衝突させないで下さい。
	15	ギヤードトロリーのハンドチェーンを他の機械に引っ掛けたり、モーターなどの動力で操作しないで下さい。
	16	トロリーは、-20℃～+60℃(湿度は100%以下)の範囲内で使用して下さい。水中では使用しないで下さい。
	17	製品の改造をしないで下さい。
 注意	18	使用前に日常点検を行って下さい。また定期点検(*1)も行って下さい。
	19	屋外設置の場合は、カバーをかけるか、雨覆いのある場所で保管して下さい。
	20	屋内でも屋外でも、使用後はレールの末端に移動させて保管して下さい。
	21	使用后、レールから取り外す場合は、トロリーを放り投げたり引きずったりしないで下さい。
	22	汚れや水滴を拭いて下さい。特にコマのベリング部分に汚れや錆付きのないようにして下さい。

(*1)定期点検は使用頻度によって異なりますが、1ヶ月または6ヶ月ごとに行って下さい。

点検基準

トロリーを点検する際、以下の事柄に注意して下さい。

1	日常点検における点検項目、点検方法および点検基準は、「点検要領」が基本となります。ただし、使用頻度が多い場合または特殊状態で使用される場合には、この点検項目以外にも点検するようにして下さい。
2	定期点検については、「点検要領」を基に行って下さい。
3	トロリーを点検・修理した場合には、正しく作動することを必ず確認して下さい。
4	交換部品は、当社純正部品を使用して下さい。

点検要領

点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
日常点検	定期点検			
<表示>				
○	○	表示(銘板)	目視	表示の有無や読めないものは取替えること。
<作動>				
○	○	プレントロリー	軽い荷を吊って手押し走行	軽い力で滑らかに走行すること。
○	○	ギヤードトロリー	軽い荷を吊ってハンドチェーン操作	
<本体>				
○	○	ガワイタ	目視	著しい変形や、破損のないこと。
○	○		目視	著しい摩耗や変形のないこと。
○	○		目視、作動	動きにガタつきがなく、スムーズに回転すること。
○	○		目視	踏面に凹凸がないこと。
○	○			ツバに亀裂などがなく、スナックリングがついていること。
○	○	コマP及び、コマG	目視	コマを止めるスナックリングがついていること。
○	○		目視	ベアリングの油切れや錆付きがないこと。
○	○	コマジク	分解・目視	コマの動きにガタつきがないこと。
○	○	ツリ板	目視	明らかに変形していないこと。
○	○	ステー	目視	変形のないこと。
○	○	固定ボルト・ナット	スパナで締付け確認	緩みのないこと。
○	○	Uナット	スパナで締付け確認	
○	○	テスト	無負荷機能テスト	軽い力で滑らかに走行すること。
○	○		定格荷重テスト	手引が異常に重くないこと。
○	○			異常音が出ないこと。
○	○			スムーズに走行すること。